

# 創刊号

発行者 上野原市議会議長  
網部 幸喜  
編集 上野原市議会だより  
編集委員会

## 上野原市

平成17年4月25日発行

# 議会だより

### もくじ

議長・市長・市長職務 執行者挨拶	.....2P
合併前後の議会	.....3P
議案審議(第1回定例会)	.....4~5P
常任委員会レポート	.....6~7P
市議会の編成	8~9P
第2回臨時会	.....10P
一般質問	...11~14P
広域行政	.....15P
議会活動・市民の声募集	.....16P



春爛漫の桂川橋



市長 長 幸喜  
議員 岡部



副市長 長 左敬  
議員 多賀

この度、二月二十一日の第一回臨時議会において、議員各位の温かいご推挙をいただき、上野原市議会初代議長に就任することになりました。心より厚くお礼申し上げます。

この重責を遂行するために、地方分権が進む今日、国と地方の関係が対等の立場で国づくり街づくりへと進んでおります。国庫補助金や地方交付

税の見直し、国から地方への税源移譲を一括で行う「三位一体」の改革などにより依然として厳しい状況が続いております。また、少子高齢化、環境問題また急速に進む高度情報化など行政を取り巻く環境は変わってきています。

そのため今後議会として取組まなければならぬ問題は山積し、議長としての使命は重く皆様の期待にこたえるよう、より一層努力する所存であり、議員各位、更に関係諸団体のご支援ご協力を賜りながら新市の将来構想であります。「夢と希望あふれる快適発信都市」の実現に向けた努力をしまいにあります。

二月十三日に上野原市がスタートし半月余りが経過いたしました。市長職務執行者として新市のスタートが、大きなトラブルもなく進められたことに職員ともども安堵しているところであります。

しかし平成十七年度の山梨県予算については、国庫補助事業の削減が九十項目以上に上り山梨県だけでも約八十億円が激減される見込みとなっており、各市町村の要望も一部で予算化できないなど非常に厳しい状況であります。

# 誕生！新市の体制決まる



市長 長 明彦  
市 奈良

のご理解とご協力のたまものと、深く感謝申し上げますとともに、三万人余の市民の皆さんとともに喜びといたすところであります。

の建設計画など、その具

での回復実感には乏しく、まだ厳しい経済状況が続いております。こうした中、地方においても、国が掲げる三位一体改革の名のもとに、引き続き厳しい行財政運営に追われているところでもございます。

さて、国や地方財政の三位一体改革は、国からの補助金と地方交付税の削減とともに地方への税源移譲を同時に行うことで地方分権を進め、行政の効率化と財政再建を図ることを目的としております。

国や地方ともに行政を取り巻く環境は、予想以上に厳しくなってきた中で合併の効果を如何に発揮していくかが上野原市にとって、大きな課題となっていくと思われ

二月十三日、旧上野原町と旧秋山村の合併により山梨県下十二番目の上野原市がスタートすることができました。

私も、上野原市の初代市長として、その責任の重大さを痛感すると共に、市民各位の厚い期待にお答えすべく決意を新たにしております。

今社会は不透明な時代にあります。国際情勢のみならず、国内の経済状況におきましても、景気は回復が続いていると言

まさに合併により新市上野原市となったスケールメリットを最大限に生かし、将来にわたって強

議員各位を始め、市民の皆様方のなお一層のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

新市長に引継ぐまでの期間、市民の皆様のご協力をいただき、精一杯努力を傾注していきます。

これを始め、関係の皆様方を始め、関係の皆様方

私の公約を始め、新市

われていますが市民感覚

かし、将来にわたって強

えております。

新市長に引継ぐまでの期間、市民の皆様のご協力をいただき、精一杯努力を傾注していきます。

# 合併前の議会

## 上野原町議会

一月二十五日臨時議会

合併に伴っての広域行政組織関係、指導主事共同設置、委託生徒事務、ゴミ処理、し尿処理、これらの廃止など十一議案が決まりました。

## 秋山村議会

一月二十七日臨時議会

合併に伴う広域行政関係、ゴミ処理、し尿処理、富士吉田市他からの指導主事他事務処理。都留市との消防事務委託。これらの廃止、脱退など九議案が決まりました。

上野原市 開庁式 式典のようす



## 合併・2月13日

上野原市誕生と共に  
上野原市議会発足

## 合併後の臨時議会 (2月21日から25日)

議長、副議長、各常任委員会、議会運営委員会、議会だより編集委員会と各正副委員長、議員会正副会長の議会組織の編成に加えて、議会外の様々な審議会委員も選定しました。

市制発足に当たり、市民の日常に密接で行政運営に不可欠な各種条例百九十六件が(新規六件含)一号議案として専決処分が提案され、そのほか合併前に廃止、脱退など広域行政組織についても、改めて加入したりスタートするなどの議案を含む十件が議会に提案され、議決・承認されました。



上野原市 秋山支所 開所式のようす

# 新市第一回定例会開かれる

平成17年度一般会計暫定予算・歳出47億3,033万円

暫定期間 4月1日～6月30日

(千円未満四捨五入)

平成十七年第一回定例会は三月三日から十一日までの九日間の日程で開催され、十七年度一般会計暫定予算他、条例制定など三十二件が審議され、その結果、全議案は可決承認されました。

- \* 条例制定
  - \* 平成十六年度一般会計暫定予算補正予算他
  - \* 十七年度一般会計・特別会計暫定予算他
  - \* 人事に関する案件
  - \* その他の案件
- 別に請願一件が審議されました。

## 条例制定・その他の案件

(全て承認)

一、上野原市税条例・下水道条例の制定

不動産登記法が全部改正され(平成十六年法律第二百二十三号)が平成十六年六月十八日に公布、平成十七年三月七日の施行により条例改正

二、上野原市文化財保護条例の一部を改正する条例制定

三、上野原市及び山梨市の設置に伴う山梨県市町村自治センターを組織する地方公共団体の数の変更に関する協議について

四、同、山梨県市町村総合事務組合規約の変更に

二、三、四、五については、総務常任委員会報告を参照してください。

六、人権擁護委員候補の推薦 山本利光氏

七、人権擁護委員候補の推薦 高橋孝榮氏

八、秋山財産区管理委員会員の選任の同意 佐藤美治氏・杉本誠照氏 井上誠一氏・佐藤光明氏 関戸好治氏・原田基亨氏 星野五俊氏

九、西柵ノ入外十一恩賜林保護財産区管理委員会員の選任の同意

関係する協議

五、同、山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更に

## 平成十七年度一般会計暫定予算

(全て承認)

藤本匡規氏・佐藤隆通氏 釧持一男氏・井上全清氏 原田稔氏・佐藤三千雄氏 多賀井充司氏

歳入の主な内容

歳入二十二億二千六百七十三万円・歳出四十七億三千三百三十三万円

歳入の主な内容

市税十一億四千七百七十二万円・地方交付税七億六千九百九十八万円他(暫定期間内に収入が見込まれるもの)

歳出の主な内容

総務費十二億九千四百九十一万円・教育費七億三千八百九十一万円・民生費八億三千三百六十三万円・衛生費八億七百七十一万円他(総務費・教育費・民生費・衛生費とも義務的経費の人件費・委託料他)

## 特別会計暫定予算

(全て承認)

一、国民健康保険特別会計(事業勘定)暫定予算

歳入二億八千八百七十九万円・歳出七億一千二百二十万円

歳入の主な内容

国民健康保険税一億七千六百六十一万円・国庫支出金九千八百四十一万円他(暫定期間内に収入が見込まれるもの)

歳出の主な内容

総務費五千三百六十六万円・保険給付費四億一千五百八十三万円・老人保健拠出金一億五千八百八十万円他

二、国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)暫定予算

歳入二千三百二十一万円・歳出五千九百四十四万円

(暫定期間内の診療事業に伴う事業経費)

三、老人保険特別会計暫定予算

歳入三億八千八百八十一万円・歳出六億五千六十二万円(老人医療受給者の医療費六億四千四百四十七万円他)

四、介護保険特別会計暫定予算

歳入三億二千四百三十三万円・歳出四億六千三百三十二万円

(介護サービス等諸費三億五千二百四十七万円他)

五、公共下水道事業特別会計暫定予算

歳入一億円・歳出八千五百五十二万円

(職員人件費六千六百八十一万円・事務経費他)

六、簡易水道事業特別会計暫定予算

歳入一千五百一十万円・歳出五千三百二十九万円

(総務管理費一千六百三十二万円など維持管理費他)

七、教育奨励資金特別会計暫定予算

歳入七万円・歳出二百八

計暫定予算

歳入七万円・歳出二百八

十九万円（奨学資金貸付金・予備費）

八、温泉事業特別会計暫定予算

歳入三千八百六十万円・歳出七千九百五十八万円

（総務管理費など事業経費他）

九、大目財産区特別会計暫定予算

十、甲東財産区特別会計暫定予算

十一、蔵財産区特別会計暫定予算

十二、島田財産区特別会計暫定予算

十三、上野原財産区特別会計暫定予算

十四、檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計暫定予算

十五、小金沢土室山恩賜県有財産保護組合西原分収益事業特別会計暫定予算

十六、秋山財産区特別会計暫定予算

十七、西柵ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計暫定予算

（九）十七は、暫定期間内

の総務管理費他）

十八、水道事業特別会計暫定予算

収益的収支では、収入三億九千九十三万円・支出二億二百七十九万円

資本的収支は、収入二百八十四万円・支出一億一千八百六十一万円（不足額一億一千五百七十七万円は過去度分損益勘定留保資金で補填）

十九、病院事業特別会計暫定予算

収益的収入・支出は十四億五千七百七十四万円

資本的支出七千三百七十四万円（内部留保資金充当）

平成十六年度一般会計暫定補正予算（第一号）

（全て承認）

歳入歳出に一億二千二百八十万を追加し総額四十二億四千八百三十八万円

歳入の主な内容

県出資金一千六百八十九万円・市債八千三百六十六万円他

歳出の主な内容

総務費

二千六百四万円（人件費七百七十八万円・防災備蓄資機材整備備品購入費九百六十九万円・市長選挙費他）

衛生費

五百三万円（塵芥処理費四百七十九万円他）

教育費

七百四十九万円（学校給食費六百五十五万円他）

財政調整基金

八千百十万円（積立金）

特別会計暫定予算

一、平成十六年国民健康保険特別会計（事業勘定）

暫定予算補正予算（第一号）

歳入歳出に百三十三万円を追加し五億八千五百三十二万円

（一般被保険者保険税還付金百二十万円他）

二、平成十六年国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）

暫定予算（第一号）

歳入歳出に五百万円を追加し総額一千七百二十四万円

（医療費衛生材料費四百八十五万円他）

陳情第一号

介護保険制度の見直しの改正にあたり、「改善」を求める

介護者

介護保険改悪反対やまなしネット代表 上所洋

紹介議員 小笠原俊将

厚生常任委員会報告を参照

討 論

厚生常任委員会報告に対して

反対

小笠原俊将議員

介護保険見直しは給付減と負担増でサービスの切捨てであり、請願に対する不採択に反対です。

賛成

久島博道議員

介護予防と持続可能な保険制度で、年金八十万円以下の方には負担増の無い見直しであり、報告に賛成です。

（賛成三十二反対一）

質 疑

中村道子議員

男女共同参画推進事業費内容とプランの経緯は

総務部長

合併前両町村の策定委員会合同会議でプラン作成

企画課長

印刷製本費と推進支援委託、推進委員報酬他

小笠原俊将議員

温泉の賃金の内訳、第三セクター等考えるべき。

企画課長

パートと臨時職員は二十四名です。

総務部長

秋山温泉運営委員会の設置を検討します。

服部光雄議員

暫定予算は確定ばかりで収支は不一致、病院の収支一致はなぜか。

企画課長

患者数を多く見積もったため、精査します。

付託議案二、三、四、五の審査

総務常任委員長

服部光雄

本定例会において総務常任委員会に付託された議案第十二号、議案第三十三号、議案第三十四号

議案第十二号

上野原市文化財保護条例の一部を改正する条例制定について

議案第三十三号

上野原市および山梨市の設置に伴う山梨県市町村自治センターを組織す

担当する教育長および総務部長の説明を受け審査の結果、



自然豊かな秋山の中心地

町村の合併に基づく加入団体規約の変更に関する協議（議案第三十三号ないし第三十五号）であり、いずれの議案についても委員全員一致で原案の通り可決すべきものと

る地方公共団体の数の変更に関する協議について  
議案第三十四号  
上野原市および山梨市の設置に伴う山梨県市町村総合事務組合規約の変更に関する協議について  
議案第三十五号

上野原市および山梨市の設置に伴う山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更に関する協議についての四件は法律の改正に基づく条例の字句の修正・追加（議案第十二号）あるいは市

決しました。  
以上をもって総務常任委員会の報告とさせていただきます。

付記

市となつて議会会議規則が変更、執行部から提出された案件は特別なものを除き全て各常任委員会に付託されて審議されることになりました。  
今回総務常任委員会には先の四件が付託されたものです。

付託された請願の審査

厚生常任委員長

加藤 忠 亮

厚生常任委員会に付託された案件は請願一件であり、去る三月七日、委員会を開催し、慎重なる審査を行いました。

平成十二年四月に発足した、介護保険制度は施行後五年を目途に見直し論じられる事になっており、当局より厚生労働省から示された見直しの

視点「制度の継続可能性」・「明るく活力ある超高齢社会の構築」・「社会保障の総合化」の三

点を基本的に、介護保険制度の一部改正が国会において審議されているとの説明があり、その後、具体的に「総合的な介護予防システムの確立」と「施設給付の見直し」につ

いて、説明がありました。

まず、施設入所者の食費及び居住費についての負担の変化については、第一段階の生活保護受給者等については変化がなく、第二段階の年金八十万円以下の者

は三千円程度軽減されるが、第三段階の年金八十万円超二百六十六万円以下の者は一万五千円程度第四段階の年金二百六十六万円超の者は三万一千円程度それぞれ負担増となること。

次に、予防給付対象者の選定については、現行の要支援と要介護一の一部が予防給付の対象となり、それ以外の要介護一から五を従前の介護保険

制度からの介護給付とし、介護だけでなく予防がプラスとなる説明がなされ、この他にも多くの意見や質問があり、請願第1号「介護保険制度の見直しの改正にあ

たり「改善」を求める請願」については、全会一致で「不採択とすべきもの」と決しました。

この審議の後、所管事務調査を実施し福祉環境部の福祉課・長寿健康課・生活環境課その後、市立病院・老人福祉センター・社会福祉協議会・水道課・クリーンセンターの施設の調査を実施しました。

注目の市民病院は医師や看護師の問題の説明がありました。月曜日の午前中の一混雑であり、詳細は次回に医師等も含め協議を行う事とした。

観光振興と地域経済の活性化

経済常任委員長

久島 博 道

当委員会は、三月四日委員会を開催し、建設経済部長および経済課職員の出席を求め、新市にお

ける地域経済の活性化と観光資源の有効活用について説明を求めました。担当部局からは、旧両



簡易水道の説明を受ける委員



スマートICが期待される談合坂サービスエリア

町村の広範囲に散在する名所や国指定文化財など合計百九項目の観光情報等を網羅した「上野原市観光パンフレット」と市内二ヶ所の「東部工業団地」と「上野原工業団地」の企業誘致状況説明および、同工業団地への企業誘致や観光振興の促進を目的の「スマートインターチェンジ」の先進事例が紹介されました。

地域経済の活性化は企業誘致が課題です。また、スマートICは、地域経済の活性化や観光振興を目的に既存のサービスエリア等にETC専用の仮出入口を設置する国・県等の共同社会実験事業で、群馬県の駒寄PAや長野県の佐久平PAなど全国十四箇所で行なわれ、山梨県内では、「双葉サービスエリア」が社会実験の採択を受けています。

説明後、「長峰の池の整備」「観光パンフレットへの旧鎌倉街の旧鎌倉街道の名称掲載」「桂川右岸への桜の植栽観光整備」「談合坂SAへのスマートIC設置時の経済的効果」など委員から意見や質疑が出されました。

本定例会に付託案件がありませんでしたので、所管事項の調査を行いました。三月七日、委員全員と建設経済部長、建設課及び、下水道課関係職員、議会事務局職員同行のもとに、桂川流域下水道の終末処理場であります桂川清流センターと、主要地方道四日市場上野原線の天神トンネルの現在の進捗状況説明を午後一時から委員会室で受け

市内に散在する観光資源は有効活用されておらず、今後、既存の観光資源の整備や有効活用のための「観光振興計画」策定や観光パンフレットの整備で有効な広告宣伝を図る必要があります。また、スマートICが設置された時の効果は、大野貯水池や旧甲州街道

**下水道と天神トンネルの調査報告**  
建設常任委員長  
村松 郁夫

等の観光の振興と同時に東部工業団地への企業誘致の促進は大いに期待できます。当局には、これまで以上に地域経済の活性化と観光振興、観光資源の有効活用を図るよう要望して経済常任委員会の報告といたします。

ました。大月市梁川町の「桂川清流センター」に移動し、施設の概要及び運転状況を山梨県下水道公社職員より説明を受け視察を行いました。市役所に戻り委員会室で、島田地区柵野入地内に建設を予定の「天神トンネル」の進捗状況と今後の見通しについて山梨県富士北麓東部地域振興局、大月建設部より小池

道路課長及び担当者の説明を受けました。その概要は、「桂川清流センター」は、現在都留市、大月市、上野原市、西桂町の三市一町の一部を供用開始し、平成十七年一月現在一、二六〇戸三、四八四人の加入があり加入率は二七・四パーセントで、日量二二〇〇トンが流入しています。富士吉田市については現在整備中であり、一部供用を開始している各町においても現在管渠の整備を継続中であり施設自体も一部未整備とのことでした。

「天神トンネル」については、現在設計に向けた用地確定のため現地立合い作業の準備中で、順調に進めば平成十七年度中には用地取得に入り完成までには七年から八年かかるとの説明でした。「天神トンネル」は旧上野原町と秋山村を結ぶ重要整備事業で住民の要望も非常に強く、事業期間が長い事は到底住民の理解が得られないことから、全委員から三年～四年で事業実現のため計画期間の見直しに強い要望を踏まえ再度県庁内部で検討する方向が示されました。



桂川清流センターで説明を受ける委員

# 編成決まる



**総務常任委員会**

**議会運営委員会**



外月正次 河内郁夫 石井脩徳 関戸勝治 小俣泰孝  
杉本隆芳 岡部幸喜 服部光雄（委員長） 尾形幸召（副委員長）

**厚生常任委員会**



中村道子 佐藤忠義 奈良田文夫 関戸信二  
和田正人 長田助成（副委員長） 加藤忠亮（委員長） 尾形重寅



ようす



# 新市議会の



議員全員協議会

経済常任委員会



建設常任委員会

多賀井左敬 関戸将夫 岡田元衛 鷹取偉一  
小笠原俊将 杉本友栄(副委員長) 久島博道(委員長) 佐藤芳男



尾形正己 佐藤則久 原田弘喜 杉本茂  
石井義定 村松郁夫(委員長) 山口公正(副委員長) 山下仁



議員会会長 佐藤 芳男  
副会長 関戸 勝治

議場の

# 上野原市

## 第二回 臨時議会開かれる

三月二十日に市長選挙で当選した新市長の招集により、三月三十日に、第二回臨時議会が行われました。提出議案は全てが人事であり、新市の体制を決めるものでした。何れも賛成多数により可決されました。また、選挙管理委員会の委員及び補充員が指名選挙により、選挙されました。

- 助役 尾形 尚  
収入役 天野 清作  
教育委員 石合 きみ恵  
盛池 敦子  
小俣 三喜雄  
網野 清治  
安留 壽一  
監査委員 坂本 丈一  
石井 義定  
公平委員会委員 富田 条一  
和智 ゆた枝

- 釘持 一男  
固定資産評価委員 白井 和文  
固定資産評価審査委員会委員 富田 裕久  
原田 俊夫  
溝呂木 森雄  
選挙管理委員会委員 天野 健  
上條 範行  
長田 稔彦  
佐々木 勇  
補充員 菊地 重光  
白倉 敏行  
加藤 郁朗  
山川 新平

### 質疑

#### 小笠原俊将議員

臨時議会提出の人事案件は今日の審議を待たず新聞報道され、我々議員に示されたのは今朝であり、議員として調査ができない状態で日を改めてやり直すべき。

#### 市長

記者予測の報道であり、

私共から知らせてはいません。  
総務部長  
議案書ができたのが夕べで、遅れたのは申訳ありません。

### 討論

#### 反対

#### 小笠原俊将議員

このような状況は議会軽視であり、反対である。

#### 賛成

#### 山口公正議員

人事案件は執行者の権能行為であり、質疑、討論は省略することを全員協議会で全議員の了解を得て既に決めてあります。

#### 杉本隆芳議員

新聞記事は記者の推測で先行したものである。助役、収入役等適任であり、賛成である。

## 子どもたちの未来のために

この合併により、上野原市の将来を担う子供たちが通う正規保育所は上野原第一保育所、上野原第二保育所、巖保育所、島田保育所、秋山保育所となり、通所者は三百人また、へき地保育所は大目保育所、甲東保育所、柵原保育所、西原保育所で六十八人の通所者です。私立の上野原幼稚園、上野原羽佐間幼稚園、島田幼稚園で二百五十四人の園児または市立の大鶴幼稚園、沢松幼稚園で四十人です。

通所通園の幼児は六百六十二人で、未学齢期の子供さん方は千百九十七人おられます。全ての乳幼児にとって、も良い合併であり、将来の礎となる政策執行に寄与できる議会にと考えています。



秋山保育所の子供たち

# 新庁舎移転に伴う課題



加藤 忠亮 議員

十月の移転と二月の新市移行がなされた「新庁舎等移転」

コスト、文化ホールの利用状況は

総務部長

総務部長

一、建物の瑕疵や移行業務のトラブル等は

総務部長

特にありません

二、用地、周辺整備、建設事業費、国庫補助金と

合併推進債、ランニング



旧庁舎跡地

「用地」の取得面積は五千八百十四坪金額は、総額十四億八千二百六十五万円、「周辺整備」は用地四百八十四坪の提供をうけ、事業費は一億八百三十六万円、「庁舎・文化ホール建設」

事業費は三十六億七千三百二十五万円、(五千三百二十九坪)土地や周辺整備等を含めた全体事業費の総額は五十一億五千五百九十万六千円となっております。総務部長

国庫補助金は二億五千万円と合併推進債十一億九千八百二十万円年間維持管理費については約一億千九百万円となっております。社会教育課長

会議室等は九十三%の利用があり、曜日によっては重複し、変更を依頼しているような状況です。三、旧庁舎跡地計画に無かった合併推進債約十二億円や国庫補助金二億五千万円等を踏まえた利用方法は

売却を計画していたが、新市長と利用方法については慎重に検討します。要旨 安易に売却しないよう強く要望します。四、事務のIT化と防災対策はどうか 総務部長

## 諸課題の事実認識



服部 光雄 議員

地域イントラネット基盤施設整備事業により災害情報も各支所から災害対策本部で収集できるようになり、事務の合理化とサービスが可能となりました。

努力も必要であり携帯電話利用の各種情報の提供も欠かせない。上野原テレビ共和国の自主放送は地域に定着し皆さんが楽しみにしています。

今後計画されている、新世代地域ケーブルテレビは市内全世帯に接続される努力も必要であり携帯電話利用の各種情報の提供も欠かせない。上野原テレビ共和国の自主放送は地域に定着し皆さんが楽しみにしています。サービスの提供を検討して頂き、住民にとって使いやすい行政を望みます。

今回の質問は、選挙で市長が選出された後の六月定例会での再質問を前提に、各部長に事実認識を確認するものです。

一、今回の合併の最大課題は市の財政独立を図ることだと思いが。

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

その通りだと認識しています。

二、上野原駅の駅舎改装は市とJRだけの関係だが、南口開発は国・県の補助も考えられると思う

観光客の目で判断してもらい、これを売り出していくところから始まると思うがどうか。

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

建設経済部長

議会に提出できるものまでできています。

六、旧上野原では「福祉は国・県の施策以外町独自のものは殆どない」とされてきたが、市となった今、市独自のものを検討していかなければならないと思うがどうか。

福祉環境部長

福祉計画をまとめていく中で検討していきます。七、住民生活環境に関するものは多くは依然として県の権限に属しているが市としてもできることは

やっつけていかなければならないと思うが。

福祉環境部長

県も市独自でできる施策は極力推進するようにいっていますので、これから検討していきます。

八、防災対策はまず各区毎の防災計画を策定することであり、市はその指導をしなければならぬと思うがどうか。

総務部長

その通りだと認識しています。

九、市の防災対策は突発



開発が期待される上野原駅周辺

地震を想定し、実際に即したものでなければならぬと思うがどうか。

総務部長

その通りだと認識しています。

# 上野原市立病院の問題点他



尾形幸召議員

一、上野原市立病院の医師の充足、診療日数の拡大、待ち時間の患者負担の軽減等において「当局は市民の目線での配慮に努力をすべき」と考えるが。

病院事務長

各地方自治体の医療関係従事者の中で、医師不足は全国的な傾向で課題は深刻な状況です。

これは、平成十六年四月より実施された医大卒業後の、二年間の臨床研修医制度の導入により医師不足となりました。今までは大学卒業後一人で診察行為ができましたが、

医療ミス解消の観点から新人医師は研修・指導を受講しなければなりません。開業病院での研修医師もおり、大学病院も医

師不足の状況です。

医師派遣を重要施策として、安定的確保のために努力しておりますが、現状は困難です。

小児科・産婦人科は四月一日より小児科医が一名、医局に戻るため入院治療は休診・休止です。両科には共通事項があり診察はするが入院はできない。緊急患者はもよりの医療機関への紹介となります。

診療日数・待ち時間軽減におきましては医師不足が最大の要因です。中待合の在りかたや予約制を検討します。

二、上野原市公金のペイオフへの取組みと対策を収入役職務代理者

「金融機関が破綻した場合、払出しは四月一日

から元金一千万円とその利息までとする」ペイオフが解禁します。



眼科の診察を受ける

を取り寄せ分祈しました。平成十四年四月一日からは資金管理運用基準に基づき資金運用していきま

す。これらの

取組みはリスクロージャー誌による情報分析と県収入役会金融機関調査分析報告書を参考にします。

金融機関からの借入金の相殺にも対処する契約特約もしています。

今後の運用は国債・政府保証債・地方債・決済用預金の導入により安全かつ効率的に確実な運用・管理を図ります。

旧町でも平成十三年十二月二十日に助役を中心にペイオフ対策研究委員会を設立、公金の保全と効率的な運用・方策の研究をしました。

また、県収入役会が一括して第三者調査専門機関へ委託、金融機関経営状況調査分析結果報告書

# 少子化対策・他



中村道子議員

## 一、少子化対策

### ・乳幼児医療費助成

学齢期前の乳幼児医療費は無料ですが、大月・都留など国保の方に窓口無料であり、上野原市も窓口無料としては、

### 福祉環境部長

国保審査など医療行為から三カ月後の支払いが各医療機関の理解が得られれば、市長にも相談して、取組みたい。

### ・チャイルドシート

### 購入費補助金

子育て世帯への支援であり、命を護る意味からも少子化対策です。

一家庭に一台半額補助上限一百万円の条例を全ての子どもに半額補助上限二万円までにしては、

福祉環境部長  
作成中の次世代育成支



子どもの安全を守るチャイルドシート

友人たちと共に学校生活をしてい  
ます。上野原市としての学  
校教育の方針を、  
学校教育課長  
調和のとれた人間性  
豊かな児童生徒の育成  
を目指した各学校の取

閉鎖は、安心して子どもを  
生み育てる環境が損なわれ  
ます。

### 医師の確保は、

### 病院事務長

援行動計画の中に位置づけ  
けており、一世帯への台数も  
新市長の検討課題とします。

### ・市立病院の医師確保

医師の減少による住民の不安は大きく、産科の

要請活動を続けているが、  
良い答えがもらえない。  
産科休止が早く解消でき  
るよう努力します。

### 二、学校教育方針

市長不在でも市民生活は  
生まれ、子供たちは一日の  
大半を

組みは施設訪問や車椅子  
体験等福祉体験、地域の  
職場体験、森林体験、ト  
マトの栽培、大学生との  
触れ合い体験、異文化交  
流、三世代交流、ゴミ拾  
いによる環境美化など創  
意工夫に富んでいます。  
これらを尊重し、生き

る力を育成すると共に学  
習・知的生活も含め総合  
的な学習を目指します。

### 三、環境政策

### 地球サミットで「持続

可能な開発」を未来の望  
ましい姿とし、その行動  
計画は子供たちに安全な  
地球を引き継ぐものです。

環境問題への取組は、

### 福祉環境部長

「ごみ減量に繋がるリサ  
イクルプラザ」の建設計画  
を進めています。

当市の恵まれた自然環  
境を守り育み、将来に引  
き継ぐための環境基本条  
例を制定する予定です。

# 民間活用の指定管理者制度・他



久島博道議員

### 一、指定管理者制度は民

間能力を活用し、公施設  
の経費削減と住民サービ  
スの向上を目的に制定さ  
れ、十八年九月一日が同  
制度への移行猶予期間で  
ある。

### 当市の基本的な方針と

指定管理者への移行する  
施設数および、猶予期間  
以降の対応を伺いたい。

### 政策秘書室長

個別法による以外では  
合計百五十施設あり、現  
在は秋山の釣り場が指定  
管理者制度です。

### その他に直営が百十六

学校など対象外施設が二  
十六、現在は委託管理で  
来年九月まで猶予がある  
施設は老人センター、神  
野ふれあい農園など七施  
設が対象で、これ等は九  
月議会で条例、十二月議  
会で業者選定を諮り、来  
年度から開始したい。

### 再質問

甲府市では、業者選定  
委員会に公平性・透明性  
を図るための民間の有識  
者をそれに加えている。

### 二、少子高齢化対策

介護認定者は年々増  
加傾向にあり、持続可能  
な制度のためには介護予  
防が重要な施策だ。  
地域支援事業と介護予  
防事業対策は、

### 今後、初めての介護認

定申請の訪問調査は市が  
行うようになるが、ケア  
マネージャーや保健師等  
の受入れ態勢は、

### 福祉環境部長

介護保険の地域支援事  
業や介護予防対策は、現  
在行なう温水プール活用



改善が望まれる秋山温泉

や筋力アップ教室、転倒骨折予防などの地域保健活動や公民館事業等と連携を図り、第三期老人福祉計画・介護保険事業計画を作成し、平成十八年度から施行したい。

改正児童福祉法に

「地域協議会」の設置を明記しており、当市に設置される福祉事務所と警察などで構成する「児童虐待防止ネットワーク」の設置を望むも同時に少子対策課や育児支援課を

整えてはどうか。

また、十六年度中期計画の次世代育成支援の行動計画策定状況は、

福祉環境部長

次世代育成支援行動計画の策定は、三月下旬に完成する予定です。

次世代育成支援行動計画の中に位置づけ、児童虐待を含む子育て対策を進めて行きます。

再質問

住民は行政サービスを自由に選べません。

六月議会

には新市長が決定されているので、少子対策課・育児支援課の設置はその時に再度伺います。

市立病院問題



小笠原俊将議員

一、病院問題について

病院が抱えている問題は多く、施設の老朽化、慢性的な看護師、医師の不足、診療報酬の引き下げなど課題があります。

再質問

又病院を利用した住民から、輸血のとき血液型をまちがえて危篤になった。

再質問

休日救急患者への月曜回し、退院後の食事指導が一ヶ月過ぎにされたこと、利用者は又いつ病院を利用するかを考えると、

再質問

なぜこうした事が起るのか、対応はどのようにしているのか。

再質問

私は異動をして一ヶ月ですがこの間六件の苦情があり医師と患者の間のものがほとんどでした。

再質問

この対応につきまして

は中味により部所毎の対応はもちろん診療に係わるものは院長を中心に対応しています。

再質問

ミスが頻繁に起り、感覚がマヒしてくる。

再質問

医師についても大学の医局が人事権をもっているから短期間で交替になることから医師のサラリーマン化があり、病院への仕事の信頼がさがり

再質問

利用についても町外へ流れてしまうこういう事態をどう考えるのか。

再質問

医師については大学の医局が行っているのは事実です。

再質問

市でも医療センターや、医師個人のつながりも利用しながら医師の確保に努めています。又週二回



市立病院の問題点

談員を設置してはどうか。

病院事務

務長

セカン

ドオピニ

オンにつ

いては研

究をしま

す。

個人情報

報につい

ては当事

者に開示

をしてい

ます。

二、病院建設について

委員会をスタートさせ議論しているときいています。

再質問

担当課が指導性をもつと発揮して方向性を示すべきだ。

福祉環境部長

建設審議会の内容を変更しまして、単独で造る

のか他町村と合同で造る

か又高度医療をめざすの

か、療養型にするのか市長就任後に検討します。

か、療養型にするのか市長就任後に検討します。

# 東部広域連合

一月四日、山梨県東部広域連合第一回定例議会が都留市内で開催された。

冒頭、奈良連合会長から、

「合併により、一月十一日をもって連合長の職を失うことになるが、就任以来皆様のご理解・ご協力により、事務事業の広域化に鋭意取り組みましたが、活発化した「市町村合併」との関係などから、未達成に終わってしまったことも否めない事実であります。

しかし、事務事業の広域化を進めることは、構成市町村のみならず、「東部広域連合設立の意義であり、存在価値の原点であり、使命である」と認識しています」との挨拶がありました。

議事では、総額二億二千二百一十萬円の平成十七年度予算を始め、条例改

正一案件が提出され、いずれも原案どおり可決・承認されました。

## 平成十七年度 一般会計予算

歳出の主なものは、総務管理費（五千九百九十五万円）や養護老人ホーム運営費（一億二千二百八十六万円）及び介護認定審査会運営費（四千百一十万円）となっています。歳入では、構成市村負担金（一億三百八十万円）のうち当市分は、三千六十五万円また、養護老人ホーム分の民生費負担金（一億千七百四十万円）のうち当市分は四千五百六十万円となつて、当市が負担する総額は七千六百二十五万円となっています。

市の負担金は、旧町村

分が暫定的に振り当てられますが、補正予算で調整される予定です。

## 連合議会

### 閉会中の活動

二月一日、上程議案の概要説明の他、町村合併による上野原市の再編手続きや構成市村負担金及び、人事（職務代理者含む）について、養護老人ホーム「大鶴楽生園」の効率的な施設整備と運営

等の説明や広域行政推進に係る調査・研究事業の説明があり、平成十二年度から六事業が実施され、委託料の合計は二千三百五十万円余となつており、議員からは発足以来広域行政に係る調査・研究事業が六件での高額な委託費に対して進展のない現状に不満が続出しました。これについて、幹事会や正副連合長に対して積極的に取組みを図ることを確認した。

東部地域広域水道企業団の三月議会在が三月二日開催され総額十八億四千三百万円余りの平成十七年度予算など三案件が提案され、いずれも原案通り可決された。

### 予算の資本的支出では

深城ダム完成に伴い、水源開発施設整備事業が終了し、特定広域化施設整備事業費で工事費十四億六千八百万円、大倉・登下配水池等の用地費千三百万円、業務委託料五百万円、事務費及び職員人件費一億五千八百万円等、総額十八億四千三百万円余を計上しています。

### 資本的収入として上野

原・大月両市からの一般会計出資金として七億五千百万円、国庫補助金五億円、県補助金一億六千九百万円、企業債四億六千六百万円をそれぞれ計上し、不足は内部留保資金等を充てています。平成七年度着手より十年が経過し、この間補助事業費ベースで、八十七%の進捗状況で、また、簡易水道組合等は五十六地区のうち四十四地区から加入の同意を頂いています。深城ダムの試験湛水も完了し、国の最終検査待ちで、本年六月には、ダムの竣工式を計画し、その準備を進めています。

## 東部地域広域水道企業団



特定広域化施設整備が始まる大倉の配水池





上野原地域の方々が毎月2回集まって練習をしているコーラスグループ「ひまわり」

# “市民の声” 募集します！

合併によるサービスの低下を招いていないか、市制を牽いてあるべきサービスの向上、議会への要望など、多くの皆様のご意見をお待ちしています。(五百字以内)

氏名、年齢、住所、出来れば顔写真  
上野原市上野原三八三番地  
上野原市役所内  
市議会だより編集委員会宛

## 2月～3月 議会活動

### 2月

- 13日 上野原市開庁式  
上野原市役所秋山支所開所式
- 21日 第1回臨時会 21日～25日
- 24日 議会運営委員会 第1回定例会について

### 3月

- 1日 上野原高等学校卒業証書授与式 (議長)
- 2日 東部地域広域水道企業団議会
- 3日 第1回定例会 3日～11日
- 4日 常任委員会(総務・経済)
- 7日 常任委員会(厚生・建設)
- 24日 議会運営委員会 第2回臨時会について
- 25日 議会だより編集委員会
- 30日 第2回臨時会



作業中の編集委員

## あとがき

上野原市となって初めての議会だよりです。今回編集委員として、八名の議員が担当になりました。

市民の皆さんに議会の様子や内容が解りやすい編集になるように、委員一同気持ちを引き締めて頑張っております。

「市民の頁」を作りたいと考え、皆さんのご意見を募集しました。

より市民の目線に近い議会だよりを考えております。

- |       |        |
|-------|--------|
| 編集委員長 | 中村 道子  |
| 副委員長  | 鷹取 偉一  |
| 委員    | 小俣 泰孝  |
| 委員    | 原田 弘喜  |
| 委員    | 村松 郁夫  |
| 委員    | 多賀井 左敬 |
| 委員    | 卯月 正次  |
| 委員    | 関戸 信一  |

印刷/上野原市柵原  
中島印刷株式会社 七三六  
(〇五五四)〇五五六六